

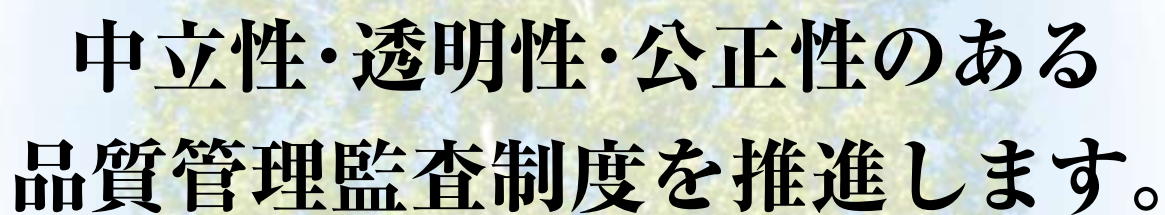
READY-MIXED CONCRETE



平成21年度版

# 品質管理監査の まとめ

神奈川県生コンクリート品質管理監査会議



# 中立性・透明性・公正性のある 品質管理監査制度を推進します。

平成21年度版  
品質管理監査のまとめ

## Contents

ご挨拶	2
品質管理監査制度	3
平成21年度品質管理監査結果について	9
品質管理監査合格工場名簿	13



神奈川県生コンクリート品質管理監査会議 議長

## 池田 尚治

横浜国立大学 工学研究院 名誉教授

生コンクリートの品質管理監査制度は既に30年以上の歴史を持ちますが、神奈川県地域が独立して監査会議を持つようになったのは1998年（平成10年）からであり、この体制のもとに今年（2010年）で12年が経過しました。我国は欧米諸国と比較して社会基盤や住宅の整備が遅れを取っていたことから、コンクリートによる建設工事が華々しく展開され、この監査会議もその役割を大きく果たしてきました。しかしながら世の中の移り変わりは大きく、財政難のもとで福祉の予算が増大し続け、その結果、建設投資が徐々に減少し世界不況と共にコンクリートの需要が大きく減少する状況になってきました。昨年誕生した新政権ではその理念として「コンクリートから人へ」という予算配分の方針を打ち出し、更に拍車がかけられました。本来「コンクリートから文化と富が形成され、これによって人に幸せがもたらされる」筈のところを、人に直接予算を付けることは極端に言えば昔の農耕時代に戻ることであって、未来への発展は期待できません。大不況の時こそ社会基盤に投資をし、経済をデフレから救わなければなりません。出来るだけ早くこのような政策への転換を望むところです。いずれ「コンクリートが未来を造る」という本来の状況になると信じています。230年前の英国人

アダム・スミスの「国富論」には社会基盤の重要性とその建設運営について卓見が書かれていますので、是非ご一読をお勧めします。

2008年に発生した溶融スラグ細骨材によるポップアウトの問題では、この監査会議のもとに対策委員会を設置して検討し、最近ようやく解決の方向に向かっていていることは、関係者一同の献身的なご努力に拠っています。この件から学ぶことは極めて多く、今後の神奈川県生コンクリートの品質への信頼が大いに高まることに繋がると思われます。

地球温暖化の原因がCO<sub>2</sub>であるとされてきましたが、この説は誤りである可能性が高いと思います。セメント製造時に発生するCO<sub>2</sub>が温暖化に関係ないとなれば、コンクリートに対する環境問題が基本的に解決されることとなり、コンクリートは社会の持続可能な発展に大きく寄与できる材料として改めて大きく認識される筈です。セメントの常温硬化という神秘的な結合力で成り立つコンクリートの今後の一層の発展に期待すると共に、ポップアウト問題を経験した神奈川県生コンクリート工業組合の関係各位が今後とも更なる技術的、倫理的研鑽を積まれ、最も魅力的な社会を建設するために粛々と貢献されることを切にお祈りいたします。



神奈川県生コンクリート工業組合 理事長

## 岩崎 英毅

日頃、当工業組合の製品にご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。また、生コンクリート品質管理監査制度に多大なご理解を賜りありがとうございます。

今回は67工場を対象に監査を実施致しました。従来同様、全国生コンクリート品質管理監査会議の定めた全国統一基準に基づき、厳しく監査を実施、また、前回より実施した骨材の現認も継続実施、再発防止に留意致しました。尚、今回より全対象工場に外部監査員による監査を導入実施し、監査の中立性・透明性・公平性の一層の向上に努めました。

さて2年前、管内生コン工場からJIS外溶融スラグ混入骨材使用の不適合生コンが出荷され、ユーザーの皆様にも多大な混乱とご迷惑をかけるという誠に遺憾な事態が発生致しました。お詫び申し上げます。これにつきまして現在、関係各位のご尽力ご協力を頂戴中、当該地区生コン協組主導で国交省認定を申請するなどの形で鋭意、物件の適正化を進めてまいりました。また同時に、ご迷惑をかけた施工者他関係の方々や当該生コン協組の間で補償に関するお話し合いがなされていると聞いております。関係諸官庁・自治体・建設業界関係者各位、地域の皆様のご理解を得て、一日も早い生コン業界への信頼回復を念願致しております。宜しくご支援のほど、お願い申し上げます。

一方、生コン業界は国内インフラ充実拡大を支える建設業界殿のご発展と方向を同じくする業界であり、他業界同様、リーマンショック

以来の国内経済低迷、需要縮小に大きな影響を受け、対応に注力しております。そんな中、新政権の「コンクリートから人へ」という思いもかけない視野の狭い、公平性を欠くメッセージの発信、及びその後のメディアなどを介した社会への波及により、長きにわたり日本国家の発展、インフラ基盤建設に欠くことができない重要資材の供給責任を果たしてきたと自負している私どもも業界を構成する企業経営者、それを支える関係者の誇り・尊厳は大きく損なわれたと感じております。生コン産業も建設業などの他産業同様、国内インフラ発展・充実に支える重要パートであるということを是非、再認識頂けたらと念願致しております。

生コン業界は需要低迷の中、現在、構造改善事業推進や新JIS改正などによる新たな投資と体制整備など、大きな環境変化にさらされておりますが、神奈川県に所在します私どもは、良質な製品を安定的にユーザーに供給する大きな社会的使命を負っているという認識を踏まえ、今後も一層、品質管理の充実・強化に努力してまいり所存です。ユーザー各位におかれましては、当工業組合の取り組みに是非ご理解頂き、生コンを使用する管内工場につきましては、品質監査合格工場である当組合員工場製品をご愛顧賜りたくお願い申し上げます。

また、組合員工場の皆様もコンプライアンス徹底の中、益々多様化するユーザーニーズに対応すべくご尽力をお願い致します。まずはご報告お願いまで。

# 品質管理監査制度

## 中立性とは……

監査結果の判断が、広く公正に収集されたデータに基づいて行われ、個人的判断(恣意)が入らないこと。



## 神奈川県生コンクリート品質管理監査会議構成メンバー (平成22年3月時点)

議長	池田 尚治	横浜国立大学工学研究院	名誉教授
副議長	菊池 雅史	明治大学理工学部	教授
委員	菅沼 克敏	国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所	工事品質管理官
	木村 義信	国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所	工事品質管理官
	市川喜久男	神奈川県県土整備部 技術管理課	課長
	佐久間 隆	横浜市都市整備局 公共事業調査室 公共事業調査課	担当課長
	加藤 豊	川崎市建設局 総務部技術監理課	課長
	河上 末廣	神奈川県建設業協会	委員
	岩崎 眞	神奈川県建設業協会	委員
	梅原隆一郎	神奈川県建設業協会	委員
	西倉 哲夫	(社)神奈川県建築士事務所協会(耐震診断業務特別委員会)	委員
	岩崎 英毅	神奈川県生コンクリート工業組合	理事長
	柳内 孝彦	神奈川県生コンクリート工業組合	副理事長
	栗原 利男	神奈川県生コンクリート工業組合	副理事長
	新倉 賢爾	神奈川県生コンクリート工業組合	副理事長
	鈴木 理恵	神奈川県生コンクリート工業組合	副理事長
	浮須 和幸	神奈川県生コンクリート工業組合	副理事長
	石川 寿秋	神奈川県生コンクリート工業組合	監査統括責任者
	菊地 茂	神奈川県生コンクリート工業組合	副監査統括責任者
	黒沢 亮	神奈川県生コンクリート工業組合	副監査統括責任者
	下川 尚司	神奈川県生コンクリート工業組合	副監査統括責任者

神奈川県生コンクリート品質管理監査会議開催 上期 平成21年 6月12日  
下期 平成21年12月11日

# 品質管理監査制度

## 適マーク

全国会議が承認した監査合格工場を示す識別標識で、配合計画書の表紙に貼付する。



## 品質管理監査合格証

地区会議が監査の結果を判定基準に照らして審査を行い、これを満足する工場に対して発行するもので、有効期間は4月から翌年3月までとする。



品質管理監査合格証

## 監査員の委嘱

品質管理監査会議の議長が、組合員及びセメントメーカーなどから、コンクリート主任技士又はこれと同等以上の技術・資質を有すると認めたものを監査員として委嘱している。また、平成14年度から更に監査の中立性、透明性を高めるために外部監査員を導入し、平成20年度からは外部監査員が全工場に主監査員として立入っている。

## 監査員の研修会

品質管理監査統括責任者が、立入監査に先立ち、監査員に監査方針、及び内容について説明し、検査に個人差が生じないよう指導、研修を行っている。

## 立入監査

監査会議において総合的な監査計画を立案、公正な監査と効率的にその実態を把握するために、必要な重点チェックポイントを記載した「チェックリスト」に基づいて、立入監査を行っている。

また、立入監査の公正性を期するため、監査員2名1組としている。

## 指定試験場

立入監査における供試体には、工組名捺印のある特製証紙が挿入され、キャッピング後、全生工組連認定の東京都生コンクリート工業組合共同試験場(2001年12月25日付 ISO/IEC17025認定取得)に搬入し、養生後、圧縮強度試験を行っている。

公正性のある監査を行っています。

## 時代のニーズに応えた 監査内容にレベルアップ 信頼度の高い制度を目指します。



# 適合判定基準と評価

透明性のある監査を行っています。

## ① 全国統一適合判定基準

評価項目の分類		評価基準別減点数 (1項目当たり)			評価項目数 (112項目)
		A	B	C	
1 種	実地検査項目及び品質への大きな影響が懸念される項目	0		-8	2項目
		0		-15	4項目
		0	-10	不適	2項目
		0	0	不適	2項目
		0		不適	2項目 (12)
2 種	コンクリートの品質に影響する項目 (JIS規格、認証指針に規定されている項目)	0	-2	-4	10項目
		0		-4	3項目
		0		-8	68項目
		0	-10	不適	1項目 (82)
3 種	コンクリートの品質に影響する項目 (JIS規格、認証指針に規定されていないが、必要な項目)	0	-2	-4	8項目
		0		-8	7項目
		0	-4	-8	3項目 (18)
	望ましい事項				11項目

注：実地検査における圧縮強度比がSLに対し、1.50以上は1点減点とする。

### 評価基準

適合	減点数の合計が20点以下の場合 評価項目のうち、コンクリート技士、QMRの選任、強度管理、計量精度、 圧縮強度、スランプ、空気量及び塩化物含有量の試験結果が各々 B評価以上であること
不適合	減点数の合計が20点を超える場合 上記評価項目のいずれかがC評価とされた場合

### 圧縮強度

判定基準	評価
SL以上	A
0.85SL以上且つ3回の試験結果がSL以上	B
0.85SL未満	C

注：SL=呼び強度

### スランプ・空気量

判定基準	評価
最初の検査で適合	A
再検査で適合	B
再検査でも不適合	C

### 計量精度 (動荷量)

判定基準	評価
初回検査で全材料が適合	A
再検査で全材料が適合	B
再検査でも適合しない材料がある	C

### 塩化物含有量

判定基準	評価
0.30kg/m <sup>3</sup> 以下	A
0.30kg/m <sup>3</sup> を上回る	C

### 容積

判定基準	評価
納入書に記載した容積以上	A
納入書に記載した容積を下回る	C

## ② 地区監査会議評価基準

調査項目	総括的事項・個別的事項・実地調査
適合	減点数0点の場合
改善指導	減点数の合計が-1点~-20点の場合 改善結果を報告書にまとめて提出させて適・不適合について議長の承認を得る

※地区監査会議として上乘せ基準を追加することがある。

# 全国統一品質管理監査評価基準と他基準との対比

## 総括的事項の調査(22項目)

全国統一品質管理監査調査事項	判定			JIS A5308 要求事項	経済産業省産業環境局第2条 (JIS Q1001又はJIS Q1011)要求事項	ISO9001 規格要求事項(2008年版)
	A	B	C			
品質方針		-2	-4		● *1)	●経営者のコミットメント
経営者の評価・指示		-2	-4		● *1)	●品質方針、品質目標
クローリング会議			-8			*2)
責任と権限		-2	-4		● *1)	●責任及び権限
社内標準化		-2	-4		● *1)	●品質マネジメントシステムの計画
規格の見直し		-2	-4		● *1)	●品質マネジメントシステムの計画
コンクリート技士		-10	不適			●力量、教育・訓練及び認識
QMRの選任		-10	不適		● *1)	●管理責任者
QMRの理解			-8		● *1)	●管理責任者
教育・訓練		-2	-4		● *1)	●力量、教育・訓練及び認識
是正処置		-2	-4		● *1)	●是正処置
予防処置		-2	-4			●予防処置
不適合品の管理			-4		● *1)	●不適合品
苦情処理		-2	-4		● *1)	●是正処置
環境保全		-4	-8			
中和装置			-8			
産業廃棄物処理			-8			
公害防止管理者			-8			
六価クロム処理			-8			
文書の識別		-2	-4			●文書管理
記録の識別		-2	-4		● *1)	●記録の管理
永久保存		-2	-4			●記録の管理

## 個別的事項の調査(85項目)

全国統一品質管理監査調査事項	判定			JIS A5308 要求事項	経済産業省産業環境局第2条 (JIS Q1001又はJIS Q1011)要求事項	ISO9001 規格要求事項(2008年版)
	A	B	C			
製品の要求品質			-8	●	●	●製品に関連する要求事項の明確化
製品の達成品質			-8		●	●製品の監視及び測定
契約内容の確認		-2	-4			●製品に関連する要求事項の明確化
契約内容の伝達		-2	-4			●製品に関連する要求事項の明確化
容積			-8	●	●	●製品に関連する要求事項の明確化
容積の検査			-8	●	●	●製品の監視及び測定
設計手順			-8		●	●設計・開発の計画
設計インプット事項			-8		●	●設計・開発へのインプット
標準配合表			-8	●	●	●設計・開発からのアウトプット
配合変更条件			-8		●	●設計・開発の変更管理
配合修正条件			-8		●	●設計・開発の変更管理
基礎資料			-8		●	●設計・開発へのインプット
セメントの要求品質			-8	●	●	●購買情報
セメントの受入検査			-8		●	●購買製品の検証
セメントの圧縮強さ			-8		●	●購買製品の検証
骨材の要求品質			-8	●	●	●購買情報
骨材の受入検査			-8		●	●購買製品の検証
骨材の入荷検査			-8		●	●購買製品の検証
骨材のアルカリシリカ対策			-8	●	●	●製造の管理
人工軽量骨材			-8		●	●製品の保存
納入業者からの骨材購入			-8		●	●購買製品の検証
あらかじめ混合した骨材			-8	●		●製品に関連する要求事項の明確化
水の要求品質			-8	●	●	●購買情報
水の検査			-8		●	●購買検証
混和材料の要求品質			-8	●	●	●購買情報
混和材料の受入検査			-8		●	●購買製品の検証
JIS以外の混和材料の受入検査			-8		●	●購買製品の検証
目標品質の明確化			-8		●	●製造の管理
細骨材の粗粒率			-8		●	●製造の管理
骨材の併用			-8	●	●	●製造の管理
粗骨材の粗粒率			-8		●	●製造の管理
細骨材の表面水率			-8	●	●	●製造の管理
粗骨材の表面水率			-8	●	●	●製造の管理
スラッジ濃度管理			-8		●	●製造の管理
人工軽量骨材の含水率			-8		●	●製造の管理

全国統一品質管理監査調査事項	判定			JIS A5308 要求事項	経済産業省産業環境局第2条 (JIS Q1001又はJIS Q1011)要求事項	ISO9001 規格要求事項(2008年版)
	A	B	C			
材料計量方法			-8		●	●製造の管理
動荷重検査			-8	●	●	●製造の管理
練混ぜ方法			-8		●	●製造の管理
練混ぜ時間・量			-8	●	●	●製造の管理
スランプ・容積の目視			-8		●	●製品の監視及び測定
スランプ検査			-8	●	●	●製品の監視及び測定
強度検査			不適	●	●	●製品の監視及び測定
空気量検査			-8	●	●	●製品の監視及び測定
塩化物含有量検査			-8	●	●	●製品の監視及び測定
単位容積質量(軽量)			-8		●	●製品の監視及び測定
コンクリート温度			-8			●製品の監視及び測定
高強度コンクリートの単位水量			-8		●	●製造の管理
運搬時間			-8	●	●	●製品の保存
残水の排出			-15			●予防処置
ドラム内への加水			-15			●予防処置
雨水対策		-2	-4			●予防処置
誤納防止			-15			●予防処置
納入書			-8	●	●	●顧客重視
付着モルタル再利用			-4	●	●	●製造の管理
セメント貯蔵設備			-8	●	●	●インフラストラクチャー、識別
セメント品種表示板			-15			●予防処置、識別
骨材貯蔵設備			-8	●		●インフラストラクチャー、識別
細骨材の置場上屋		-4	-8			●インフラストラクチャー
粗骨材の置場上屋		-2	-4			●インフラストラクチャー
コンベアのカバー		-4	-8			●インフラストラクチャー
軽量骨材のプレウエットティング			-8	●	●	●インフラストラクチャー
骨材受材システム		-2	-4			●インフラストラクチャー、予防処置
混和材料貯蔵設備			-8	●	●	●インフラストラクチャー、識別
静荷重検査			-8		●	●監視機器及び測定機器の管理
静荷重検査基準器の校正			-8		●	●監視機器及び測定機器の管理
容量変換装置			-8			●監視機器及び測定機器の管理
細骨材表面水率補正装置			-8	●		●監視機器及び測定機器の管理
混和剤過剰添加防止装置		-2	-4			●製造の管理
ミキサ練混ぜ性能			-8	●	●	●製造の管理
運搬車の品質保持性能			-8	●	●	●製品の保存
スラッジ水濃度計			-4	●	●	●監視機器及び測定機器の管理
検査設備			-8		●	●インフラストラクチャー
機器の保護手段			-8		●	●インフラストラクチャー
養生水槽の温度管理			-8	●		●インフラストラクチャー
養生水槽水の管理			-8			●インフラストラクチャー
機器の校正			-8			●監視機器及び測定機器の管理
校正状態の識別			-8			●識別
材料試験の外注			-8		●	●購買製品の検証
設備維持保全の外注			-8		●	●購買製品の検証
試験装置校正の外注			-8		●	●購買製品の検証
運搬車性能試験の外注			-8		●	●購買製品の検証
運搬の外注			-8		●	●購買製品の検証
工程管理試験の外注			-8		●	●購買製品の検証
製品試験の外注			-8		●	●購買製品の検証
容積試験の外注			-8		●	●購買製品の検証

## 実地調査(5項目)

全国統一品質管理監査調査事項	判定			JIS A5308 要求事項	経済産業省産業環境局第2条 (JIS Q1001又はJIS Q1011)要求事項	ISO9001 規格要求事項(2008年版)
	A	B	C			
材料の計量精度		0	不適	●	●	
圧縮強度(強度比1.50以上は-1点)		0	不適	●	●	
スランプ及び空気量		-10	不適	●	●	
塩化物含有量			不適	●	●	
容積			-8	●	●	

\*1) 日本工業規格への適合性の認証に関する省令(経済産業省令第6号) 第2条第5項(JIS Q 1001:2009(適合性評価・日本工業規格への適合性の認証・一般認証指針) 附属書B(規定)(品質管理体制の基準)品質管理体制に基準(A)5.イ,ロ)

\*2) JIS Q 19011:2003(品質及び/又は環境マネジメントシステム監査のための指針)6.5.7(最終会議の開催)に該当。

# 平成21年度 品質管理監査結果について

本年度監査は、当地区監査会議で策定した品質監査計画に基づき、「査察」「総合監査」及び「中間監査」を次のとおり実施した。

## 「査察」

対象工場：14工場

期 間：4月21日～4月28日

昨年度の合格証交付工場の品質確保及び維持状況を確認するため無作為に全工場の20%程度を抽出した。実施は全国基準に則り、計量器の動荷重検査後、スランプ、空気量、コンクリートの容積質量、塩化物含有量及び圧縮強度ならびに配合の妥当性確認(単位水量)の7項目について、また神奈川県の上乗せ調査として、使用材料セメント・骨材の品質及び受払いを任意の1ヶ月について調査した。

その結果コンクリートの性状・管理については全工場良好であることが確認されたが使用材料のセメントについて1工場が不適を指摘された。

## 「総合監査」

対象工場：67工場(11工場は2プラントを有する)

期 間：8月1日～9月30日

本年度は主監査員として第三者検査機関の(財)建材試験センター・(財)日本品質保証機構及び三友エンジニアリング(株)の3検査機関を、副監査員として当工組監査員25名で67工場78プラントの監査を実施した。

監査項目は「全国統一品質管理監査基準」に準拠したチェックリストに基づいて、総括的事項(22項目)・

個別的事項(85項目)・望ましい事項(11項目)・実地調査(5項目)の123項目について、またセメント・骨材については種別・種類・産地などの現認調査を行った。評価方法は監査基準の達成度により、A(全て満足)、B(満足しない項目がある)、C(全ての項目不満足)と判定し減点法で評価した。

その結果、本年度の指摘件数8工場、14件、11項目で減点は66点であった。指摘を受けた当該工場へは、指摘項目・内容を指示し改善結果の報告を求め、指摘工場から提出された「改善報告」を「神奈川県生コンクリート品質管理監査会議」で改善内容を検討し指摘事項の改善が確認された結果、適合判定基準に合格しており議長の承認を得て「品質管理監査合格証」の交付を行った。なお、㊟マークの使用については「全国生コンクリート品質管理監査会議」に㊟マークの使用承認申請を行い全工場とも使用の承諾を受けた。

## 「中間監査」

実施工場：第1回・第2回とも15工場

期 間：第1回 平成21年10月13日～23日

第2回 平成22年 2月23日～26日

当工組では平成19年度より中間監査制度を導入、実施している。既に同制度のもと、年2回にわたり、協組非所属工組員工場は工組で、協組所属工場は協組で、それぞれ監査を実施した。実施結果では問題ある工組員工場はなかった。今後も中間監査を継続実施し、品質管理監査制度全体への信頼度向上に努める所存です。

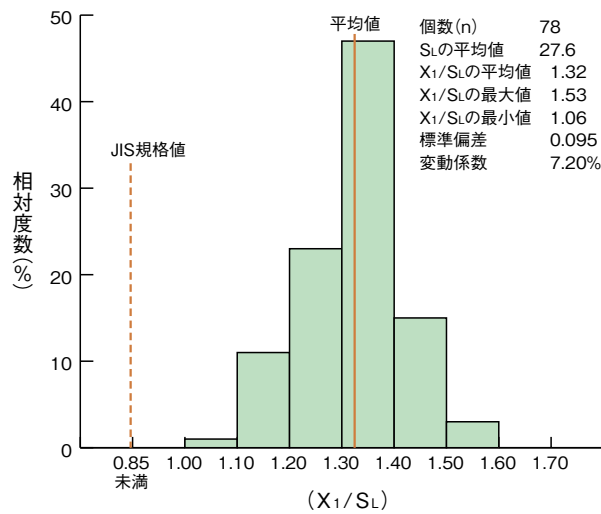
## 生コン工場の技術者数(名)

項目		年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
工場数			68	68	68	67	67
試験担当者			276	271	270	245	248
コンクリート 資格保有者	診断士		—	—	8	7	9
	主任技士		78	78	84	86	85
	技 士		258	242	240	260	271
QMR資格保有者			262	254	252	242	245
公害防止 資格保有者	粉じん		152	164	169	176	172
	水 質		106	98	93	93	84
	振 動		31	25	24	17	12
	騒 音		36	36	29	27	23
	振動・騒音		—	—	3	4	5

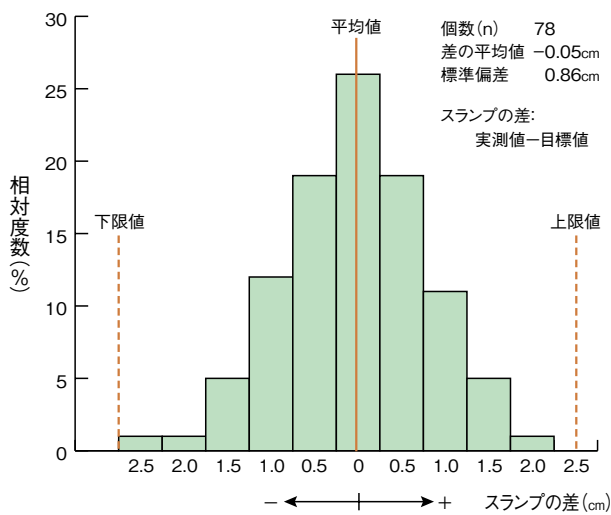
QMR：品質管理責任者

# 平成21年度 品質管理監査実地調査結果

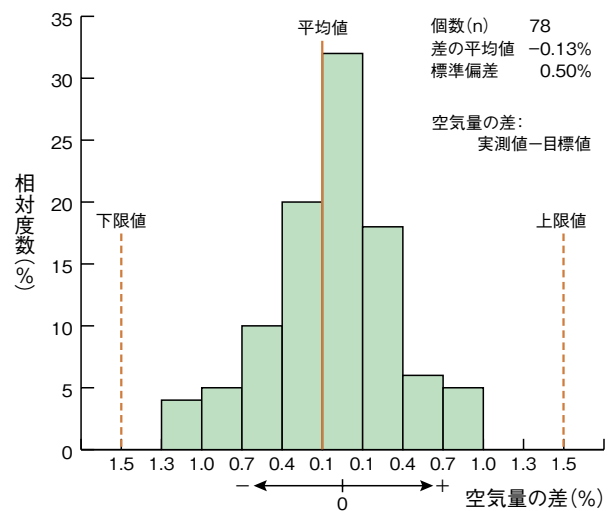
## 圧縮強度( $X_1$ )と呼び強度( $S_L$ )の対比のヒストグラム



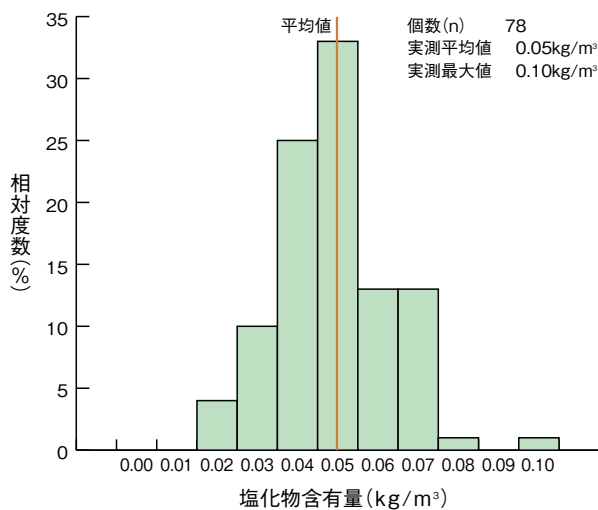
## スランブの差のヒストグラム



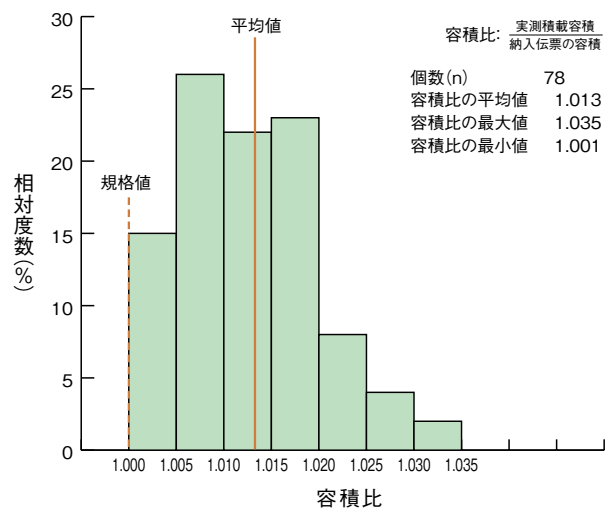
## 空気量の差のヒストグラム



## コンクリートの塩化物含有量のヒストグラム



## コンクリートの容積比のヒストグラム



# 平成21年度 総合品質管理監査結果事項別減点表

(五十音順)

会社・工場名	総括的 事項	個別的 事項	実地 検査	本年度減点 合計	減点対象事項	改善 指導後
厚木レミコン(株)	0	0	0	0		0
(有)磯子コンクリート	0	0	0	0		0
(株)内山アドバンス 磯子工場	0	0	0	0		0
(株)内山アドバンス 川崎工場	0	0	0	0		0
(株)内山アドバンス 横浜工場	0	0	0	0		0
(株)大和田商店 生コンクリート工場	0	0	0	0		0
(株)金井産業	0	0	0	0		0
神奈川太平洋生コン(株) 厚木工場	0	0	0	0		0
神奈川太平洋生コン(株) 横浜工場	0	0	0	0		0
神奈川秩父レミコン(株) 本社工場	0	0	0	0		0
神奈川菱光コンクリート(株)	0	0	0	0		0
(株)金子コンクリート	0	0	0	0		0
川崎宇部生コンクリート(株) 川崎工場	0	0	0	0		0
川崎徳山生コンクリート(株)	0	-8	0	-8	表面水の測定結果の伝達 -8	0
関東宇部コンクリート工業(株) 相模原工場	0	0	0	0		0
関東宇部コンクリート工業(株) 溝の口工場	0	0	0	0		0
関東宇部コンクリート工業(株) 横浜工場	0	0	0	0		0
(株)岸田	-8	0	0	-8	六価クロムの処理規定 -8	0
草川沼家生コン(株)	0	0	0	0		0
(株)高昭産業 川崎工場	0	0	-1	-1	圧縮強度比 -1	0
港北菱光コンクリート工業(株)	0	0	0	0		0
(株)坂本茂商店 坂本生コン	0	0	0	0		0
三和石産(株) 藤沢工場	0	0	0	0		0
湘南レミコン(株)	0	0	0	0		0
相武生コン(株) 相模原工場	0	0	0	0		0
相武生コン(株) 横浜工場	0	0	0	0		0
第一コンクリート(株) 京浜工場	0	0	0	0		0
第一コンクリート(株) 相模原工場	0	0	0	0		0
太陽湘南コンクリート(株)	0	0	0	0		0
(株)多摩 川崎工場	0	0	0	0		0
鶴見菱光(株)	0	0	0	0		0
(株)ティーエムスリー	0	0	0	0		0
東伸興産(株)	0	0	0	0		0

会社・工場名	総括的 事項	個別的 事項	実地 検査	本年度減点 合計	減点対象事項	改善 指導後
(株)長澤商店 堀山下工場	0	0	0	0		0
(株)成正 生コンクリート工場	0	-6	0	-6	契約内容の確認 -2 契約内容の伝達 -4	0
西東京相模生コンクリート(株)	0	-8	0	-8	セメントのミルシートの確認 -8	0
箱根セントラル生コン(株)	0	0	0	0		0
日立コンクリート(株) 横浜工場	0	0	0	0		0
平川宇部生コンクリート(株)	0	0	0	0		0
藤沢生コン(株)	0	0	0	0		0
二葉建設(株) 生コン部	0	0	0	0		0
(株)プラスト 金沢コンクリート工場	0	0	0	0		0
細野コンクリート(株)	-2	0	0	-2	文書の識別 -2	0
前田工業(株)	0	0	0	0		0
(株)丸晶産業	0	0	0	0		0
溝口瀬谷レミコン(株) 瀬谷レミコン工場	0	0	0	0		0
溝口瀬谷レミコン(株) 溝ノ口レミコン工場	0	0	0	0		0
緑コンクリート(株)	0	0	0	0		0
宮松エスオーシー(株) 川崎工場	0	0	0	0		0
(株)山一コンクリート 相模工場	0	0	0	0		0
(株)山一コンクリート 横浜工場	0	0	0	0		0
(株)山崎商事	0	0	0	0		0
横須賀小野田レミコン(株)	0	0	0	0		0
横須賀生コンクリート(株)	0	0	0	0		0
横浜エスオーシー(株) 横浜工場	0	-8	-11	-19	人工軽量骨材の含水率確認 -8 圧縮強度比 -1 空気量再試験 -10	0
横浜コンクリート(株)	0	0	0	0		0
横浜デイ・エム生コン(株) 港北工場	0	0	0	0		0
横浜デイ・エム生コン(株) 本牧工場	0	0	0	0		0
(株)依田儀一商店 桜ヶ丘生コンクリート工場	0	0	0	0		0
西湘生コンクリート(株)	0	0	0	0		0
中泉商事(株) 泉谷生コン	-4	-10	0	-14	教育・訓練 -2 文書の識別 -2 契約内容の確認 -2 塩化物含有量検査 -8	0
(有)武蔵コンクリート	0	0	0	0		0

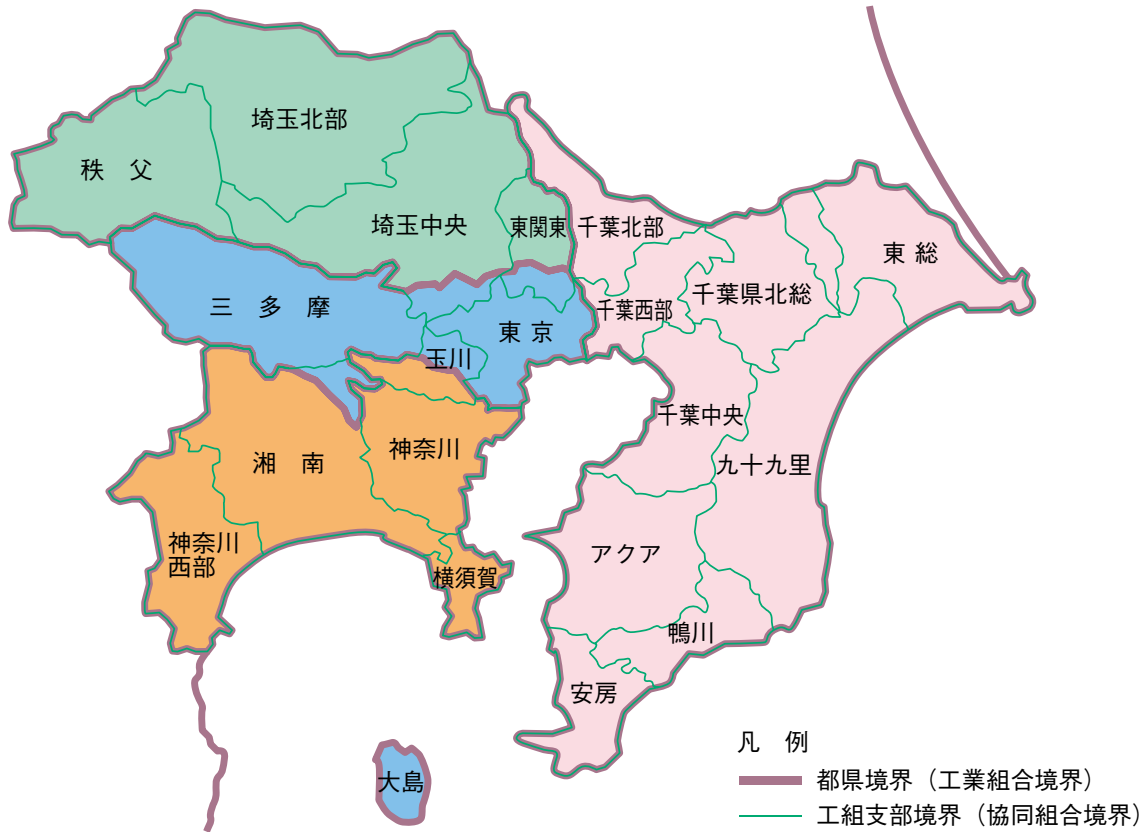
(注)減点数合計が20点を超えるものは不合格である。

# 品質管理監査合格工場名簿

会社・工場名	所在地	電話番号	FAX番号
<b>【横浜市】 鶴見区</b>			
(株)坂本茂商店 坂本生コン	〒230-0073 横浜市鶴見区獅子ヶ谷2-38-32	045-573-6061	045-573-6087
鶴見菱光(株)	〒230-0053 横浜市鶴見区大黒町7-76	045-521-5821	045-502-1730
横浜エスオーシー(株) 横浜工場	〒230-0053 横浜市鶴見区大黒町7-81	045-511-3541	045-503-1297
<b>中区</b>			
横浜デイ・エム生コン(株) 本牧工場	〒231-0812 横浜市中区錦町7	045-621-1191	045-622-6662
<b>保土ヶ谷区</b>			
横浜コンクリート(株)	〒240-0022 横浜市保土ヶ谷区西久保町6	045-331-8661	045-331-7799
<b>磯子区</b>			
(株)内山アドバンス 磯子工場	〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町8	045-755-2391	045-755-2494
関東宇部コンクリート工業(株) 横浜工場	〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町11-1	045-753-5766	045-753-5767
<b>金沢区</b>			
(有)磯子コンクリート	〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜4-15	045-771-1565	045-771-1567
(株)金子コンクリート	〒236-0003 横浜市金沢区幸浦2-5-2	045-784-5921	045-701-3366
<b>港北区</b>			
(株)内山アドバンス 横浜工場	〒222-0001 横浜市港北区樽町2-6-30	045-543-5711	045-543-6125
(株)岸田	〒223-0051 横浜市港北区箕輪町2-2-7	045-562-2101	045-562-7403
(株)山一コンクリート 横浜工場	〒222-0001 横浜市港北区樽町3-9-31	045-548-0811	045-548-2397
<b>神奈川区</b>			
(株)丸晶産業	〒221-0864 横浜市神奈川区菅田町2753	045-470-6200	045-470-6339
<b>緑区</b>			
(株)大和田商店 生コンクリート工場	〒226-0021 横浜市緑区北八朔町1386	045-934-2787	045-935-2378
<b>都築区</b>			
港北菱光コンクリート工業(株)	〒224-0043 横浜市都築区折本町419-1	045-471-7841	045-471-8227
日立コンクリート(株) 横浜工場	〒224-0057 横浜市都築区川和町54	045-932-2242	045-932-2244
緑コンクリート(株)	〒224-0044 横浜市都築区川向町630	045-472-0545	045-471-6849
横浜デイ・エム生コン(株) 港北工場	〒224-0053 横浜市都築区池辺町4739	045-931-2251	045-933-9250
(株)ティーエムスリー	〒224-0057 横浜市都築区川和町205	045-931-3156	045-936-0344
<b>戸塚区</b>			
神奈川太平洋生コン(株) 横浜工場	〒244-0802 横浜市戸塚区平戸1-17-20	045-822-3461	045-822-3466
東伸興産(株)	〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町2066	045-815-1175	045-811-1392
<b>栄区</b>			
(株)プラスト 金沢コンクリート工場	〒247-0023 横浜市栄区長倉町1-13	045-891-7611	045-891-7619
<b>瀬谷区</b>			
相武生コン(株) 横浜工場	〒246-0007 横浜市瀬谷区目黒町10-4	045-921-4621	045-921-6364
溝口瀬谷レミコン(株) 瀬谷レミコン工場	〒246-0002 横浜市瀬谷区北町20-7	045-921-6601	045-921-5410
<b>【川崎市】 川崎区</b>			
(株)内山アドバンス 川崎工場	〒210-0862 川崎市川崎区浮島町11-3	044-288-0051	044-277-3671
神奈川菱光コンクリート(株)	〒210-0826 川崎市川崎区塩浜2-11-2	044-288-2945	044-270-1665
川崎宇部生コンクリート(株) 川崎工場	〒210-0807 川崎市川崎区港町7-11	044-244-4401	044-210-1271
川崎徳山生コンクリート(株)	〒210-0867 川崎市川崎区扇町13-7	044-322-7730	044-329-1156
(株)高昭産業 川崎工場	〒210-0867 川崎市川崎区扇町6-8	044-344-3434	044-344-3400
第一コンクリート(株) 京浜工場	〒210-0863 川崎市川崎区夜光1-1-1	044-288-0286	044-288-0170
<b>中原区</b>			
宮松エスオーシー(株) 川崎工場	〒211-0051 川崎市中原区宮内1-22-7	044-777-0184	044-740-1538

会社・工場名	所在地	電話番号	FAX番号
<b>【川崎市】高津区</b> 神奈川秩父レミコン(株) 本社工場 関東宇部コンクリート工業(株) 溝の口工場 (株)多摩 川崎工場 溝口瀬谷レミコン(株) 溝ノロレミコン工場 (有)武蔵コンクリート	〒213-0032 川崎市高津区久地845-1 〒213-0013 川崎市高津区末長1425 〒213-0032 川崎市高津区久地2-6-10 〒213-0031 川崎市高津区宇奈根764 〒213-0006 川崎市高津区下野毛3-8-10	044-833-2331 044-822-9435 044-811-7734 044-844-1291 044-811-7281	044-850-1915 044-822-9123 044-850-1192 044-833-7753 044-844-7452
<b>【相模原市】中央区</b> (株)金井産業 関東宇部コンクリート工業(株) 相模原工場 相武生コン(株) 相模原工場 第一コンクリート(株) 相模原工場	〒252-0244 相模原市中央区田名5977 〒252-0212 相模原市中央区宮下2-17-1 〒252-0253 相模原市中央区南橋本4-11-11 〒252-0253 相模原市中央区南橋本4-2-27	042-761-0011 042-772-2191 042-772-4351 042-772-4366	042-762-2107 042-772-2194 042-774-0091 042-773-6883
<b>緑区</b> 西東京相模生コンクリート(株)	〒252-0135 相模原市緑区大島1844-4	042-762-0944	042-761-8000
<b>横須賀市</b> 草川沼家生コン(株) (株)成正 生コンクリート工場 平川宇部生コンクリート(株) 横須賀小野田レミコン(株) 横須賀生コンクリート(株)	〒238-0023 横須賀市森崎1-9-25 〒239-0836 横須賀市内川2-5-42 〒239-0826 横須賀市長瀬3-10-5 〒237-0076 横須賀市船越町1-284-2 〒238-0025 横須賀市衣笠町246	046-836-2221 046-833-8181 046-842-3111 046-861-5251 046-851-1165	046-836-2223 046-830-1700 046-842-3116 046-861-0393 046-851-5171
<b>藤沢市</b> 三和石産(株) 藤沢工場 藤沢生コン(株)	〒252-0823 藤沢市菖蒲沢仲之桜710 〒252-0813 藤沢市亀井野2301	0466-48-5512 0466-80-6101	0466-48-5510 0466-80-6102
<b>大和市</b> 細野コンクリート(株) (株)依田儀一商店 桜ヶ丘生コンクリート工場	〒242-0001 大和市下鶴間2837-3 〒242-0025 大和市代官2-1-1	046-275-6193 046-267-2457	046-276-0673 046-267-2458
<b>海老名市</b> 厚木レミコン(株)	〒243-0433 海老名市河原口923-1	046-231-1722	046-233-8978
<b>座間市</b> (株)山一コンクリート 相模工場	〒252-0002 座間市小松原1-41-5	046-253-2222	046-254-6330
<b>厚木市</b> 神奈川太平洋生コン(株) 厚木工場	〒243-0807 厚木市金田台畑下1280	046-221-6923	046-221-8418
<b>平塚市</b> 太陽湘南コンクリート(株) 前田工業(株)	〒254-0021 平塚市長瀬2-3 〒254-0082 平塚市東豊田480-35	0463-21-5256 0463-53-3070	0463-21-5660 0463-53-3073
<b>小田原市</b> 湘南レミコン(株) (株)山崎商事 西湘生コンクリート(株)	〒256-0812 小田原市国府津2182 〒250-0854 小田原市飯田岡341 〒250-0863 小田原市飯泉1401	0465-42-3131 0465-36-1204 0465-47-3798	0465-42-2028 0465-36-1208 0465-48-7661
<b>秦野市</b> (株)長澤商店 堀山下工場	〒259-1304 秦野市堀山下197-10	0463-87-3313	0463-87-3305
<b>足柄上郡</b> 二葉建設(株) 生コン部 中泉商事(株) 泉谷生コン	〒258-0113 足柄上郡山北町山北3090-4 〒258-0002 足柄上郡松田町神山931	0465-76-3372 0465-85-1888	0465-75-0193 0465-83-5553
<b>足柄下郡</b> 箱根セントラル生コン(株)	〒250-0631 足柄下郡箱根町仙石原1141	0460-84-7722	0460-84-8698

# 関東1区地区本部の組織



**関東1区地区本部**  
 (253工場)  
 本部長 遠藤 輝男  
 〒273-8503 千葉県船橋市浜町2-16-1  
 TEL.047-431-9211  
 FAX.047-431-9215

**埼玉県生コンクリート工業組合**  
 (71工場)  
 理事長 遠藤 輝男  
 〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和  
 3-17-5 埼玉中央生コン会館内  
 TEL.048-882-7993  
 FAX.048-887-2897  
 saitamakouso@zennama.or.jp

**千葉県生コンクリート工業組合**  
 (65工場)  
 理事長 鈴木 実  
 〒260-0045 千葉県千葉市中央区弁天  
 1-2-8 大野ビル5F  
 TEL.043-207-6351  
 FAX.043-207-6353  
 chibakouso@zennama.or.jp

**東京都生コンクリート工業組合**  
 (57工場)  
 理事長 田村 義孝  
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-26-9  
 〒273-8503 千葉県船橋市浜町2-16-1  
 TEL.047-431-9211  
 FAX.047-431-9215  
 info@tokyo-kouso.or.jp

**神奈川県生コンクリート工業組合**  
 (60工場)  
 理事長 岩崎 英毅  
 〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区  
 沢渡1-2 高島台第3ビル  
 TEL.045-311-5025  
 FAX.045-311-5026  
 kanagawakouso@zennama.or.jp

埼玉中央…………… 39工場  
 埼玉北部…………… 19工場  
 東関東…………… 9工場  
 秩父…………… 4工場

千葉中央…………… 12工場  
 千葉西部…………… 13工場  
 千葉北部…………… 11工場  
 千葉県北総…………… 9工場  
 東総…………… 4工場  
 九十九里…………… 6工場  
 アクア…………… 6工場  
 安房…………… 2工場  
 鴨川…………… 2工場

東京…………… 22工場  
 三多摩…………… 19工場  
 東関東…………… 7工場  
 玉川…………… 4工場  
 埼玉中央…………… 4工場  
 島嶼…………… 1工場

神奈川…………… 29工場  
 湘南…………… 16工場  
 玉川…………… 5工場  
 神奈川西部…………… 5工場  
 横須賀…………… 5工場

組合員工場数と監査合格工場数は違う場合もあります。